

東国の混乱と千葉氏の勃興

相馬御厨をめぐる相論

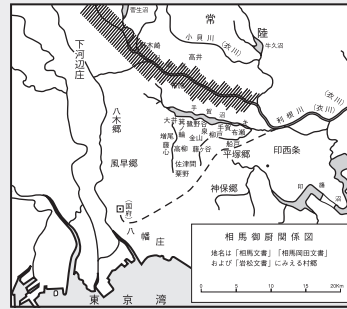
大椎常兼の子常重は、相馬にもっていた所領を伊勢神宮に寄進し、その支配権を得ましたが、国司は、税金の未払いを理由に、この支配権を横取りしました。また、武士の棟梁として知られた源義朝もこの土地を譲るよう要求しました。常重の子常胤は、未納の税金を支払い、義朝とは主従となることで相馬御厨の支配権を取り戻しました。しかし、義朝が平治の乱で平清盛に敗れるとこの土地は国家のものとなり、支配権も常陸国の豪族である佐竹氏に取られてしまいました。

※ 御厨・・・伊勢神宮の荘園



伊勢神宮内宮

伊勢神宮内宮は、千葉氏の所領であった相馬御厨の領主。



相馬御厨関係図

『千葉常胤』福田豊彦著 吉川弘文館刊より